

JUSE-StatWorks

カスタマイズサービスのご案内

お客様のご要望にあわせて StatWorksをカスタマイズいたします

カスタマイズサービスとは、StatWorksの豊富な機能をベースに、お客様仕様の画面レイアウト変更や業務処理の追加(報告書作成やデータ集計処理、任意の計算処理やグラフ描画)、一連の作業手順の自動化、運用処理など、オーダーメイドでStatWorksを改良するサービスです。

こんな時はカスタマイズをおすすめします

StatWorksは操作と結果吟味を1ステップずつ繰り返す「対話処理方式」を採用しています。そのため、さまざまなデータ解析や問題解決に使える自由度がある反面「検査項目を次々と変えながら管理図を描く」などのように、毎日決まったルーティンワークをこなす運用業務では操作量がやや多くなります。

「定期的に検査データ入力・確認・報告書作成する」、「客先規格や内部規格、製品や品質情報などを毎回(画面や報告書に)付け加える」といった「同じ作業を繰り返す」ケースであれば、カスタマイズ(決まった業務手順をシステム化・自動化)することで「人件費コストの無駄削減」や「作業品質のバラツキ低減」が可能となります。

また「データ数を増やしたい」、「異常を検出するアラーム機能を付けたい」、「メール送信機能を付けたい」など、通常製品にはないさまざまなご要望にお応えすることもカスタマイズでは可能です。

カスタマイズ事例のご紹介

最近ご要望の多い「検査工程での品質モニタ(規格外判定/傾向判定)やレポート作成を自動化する」カスタマイズ事例をご紹介します。

主なカスタマイズポイントは「生産管理システム(DB, Excel)で管理している検査データをStatWorksへ渡し、管理図やヒストグラムを描かせる」、「画面に、製品情報や検査期間、品質規格など、お客様固有のマスタ情報を表示させる」、「異常を検出した場合、その結果情報を管理者へ送信する」、「管理図画面をExcelファイルにまとめて出力し日報や週報を自動作成する」などです。

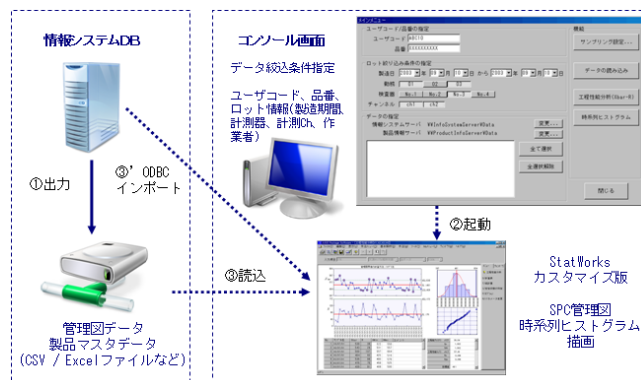
ステップ1 コンサルティングで 最適なシステムをご提案

品質管理やデータ解析、データベースやWebなどのシステム構築スキルに精通したスタッフがお客様のご要望を伺います。現在のデータ傾向や業務フローを分析し適切なシステムをご提案いたします。

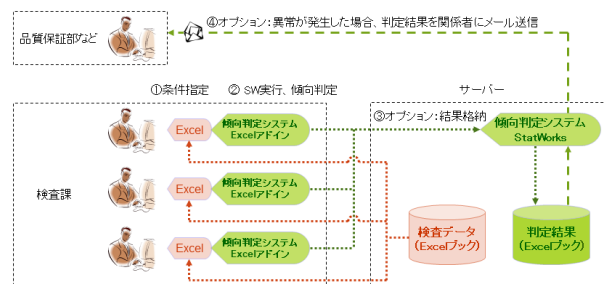
ステップ2 システムのカスタマイズ

I データ抽出機能の組み込み

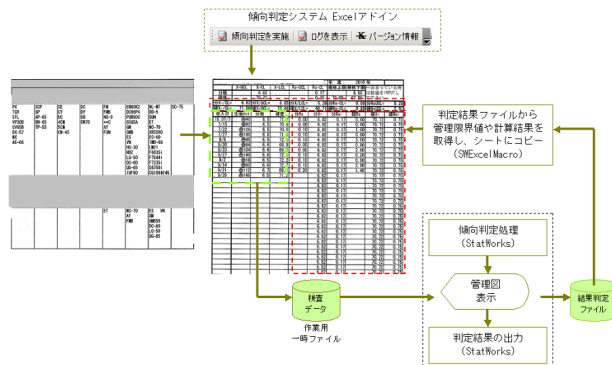
普段ご利用されている生産管理システム(DB)から検査データとマスタ情報(規格値、管理限界値、データ精度など)を自動的に取り込むための処理を作成いたします(直接DBから検査データを取得できない場合は、DBからテキストデータとして出力するための処理をご用意頂く場合がございます)。



Excelでデータが管理されている場合、Excel内からStatWorks(管理図)を呼び出すためのアドイン機能を作成する事も可能です。



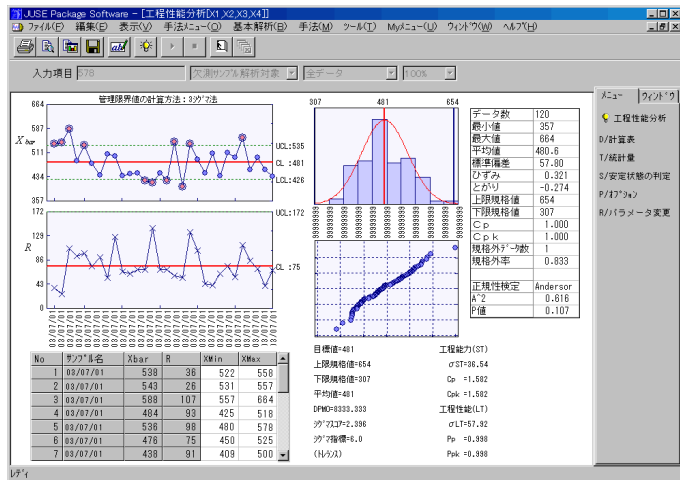
※傾向管理を行う場合、「検査データ」、「マスタ情報」が必要です。「検査データ」と「マスタ情報」は、「1枚のシートで管理する」、「別シートで管理する」、「別ファイルで管理する」、いずれかをDBから参照するなど、お客様のご要望に合わせてシステム化が可能です。



II お客様特有の画面や帳票に変更

画面レイアウトや出力内容をそのまま日常業務や報告書に使える形式に変更します。検査項目、検査期間、製品規格値などのマスタ情報を表示したり、通常製品にはない機能や統計手法、グラフを組み込むことも可能です。

また、管理限界線の計算方法を独自に定義したり、顧客指定規格や社内規格などをそれぞれ別に傾向判定する、異常と判定されたロットごとにアラームメールの送信/未送信を設定するなどご要望に添ってカスタマイズいたします。



(傾向判定結果のExcelファイル出力例)

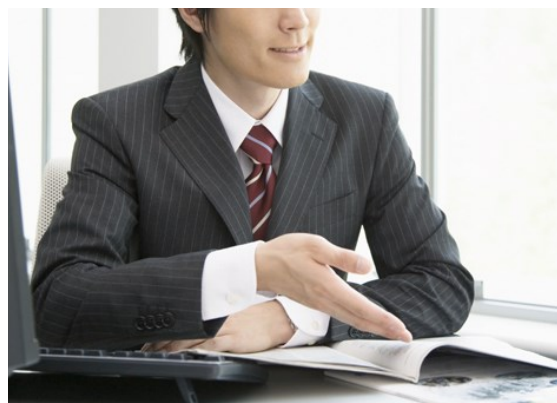
IV ISO9000のエビデンス対応

ISO9000の品質記録として管理図を残す場合、データファイルも解析手順を保存しておくことでエビデンス(証拠、記録)とすることもできます。

また、記録としての厳密性を考慮し「検査単位ごとにワークシート上に担当者や承認者の電子印を捺印したい」、「データファイルのパスワード設定や暗号化をしたい」といったご要望も承ります。

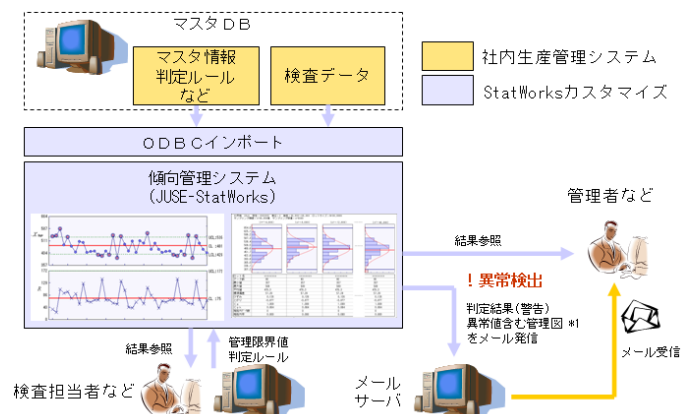
ステップ3 導入支援・トレーニング

必要に応じカスタマイズしたシステムの「導入研修」、「SQC手法教育サービス」などもご提案いたします。詳しくは「企業出張セミナー」のご案内をご覧ください。



III 出力方法の変更

ネットワークやオフィスソフトの標準化に伴って、結果を画面に表示するだけでなく、お好みの形式(Excelファイル、HTML/XHTML、PDFなど)で出力したり、出力結果をメールに自動添付して承認ワークフローに送信するなど、カスタマイズであればきめ細かい対応が可能です。



カスタマイズサービスに関するお問い合わせ先

株式会社日本科学技術研修所

統計ソリューション事業部 データサイエンス部

パッケージ営業担当

〒151-0051

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-10-11

<https://www.i-juse.co.jp/st/support/contact.html>